

ご 挨拶

一般社団法人大日本武徳会 総裁

東伏見 慈晃



この度、第54回全国武徳祭並びに第5回世界武徳祭が、明治時代創建の由緒ある、旧大日本武徳会武徳殿において盛大に開催されますことは誠に嬉しく慶賀に堪えません。

1998年（平成10年）、第1回世界武徳祭がアメリカ合衆国ノーホーク バージニア州で盛大に開催され、爾来18年の歴史を刻み第5回を迎えることは、感慨無量であります。

当会は1953年（昭和28年）に戦前の大日本武徳会を継承して再開し、現在国内外に3000人の武道家が活発に活動しておりますことは、誠に喜ばしいことであります。

今日まで、多くの献身的な武道家の先生方の文字通り血の滲むご努力の結果、日本国内はもとより、全世界に日本武道が広められました。

「技と精神を磨く」「礼節を尊び徳をもって武を修める」という武徳会の武道の精神が、世界中の多くの方のご理解を得たものと思います。

その結果として、ここに世界20カ国450人の多数の武道家のご参加を得ることができ、日本武道を広められた先生のご努力に敬意を表するとともに、ご参加されました世界の武道家の皆様に心から歓迎と感謝を申し上げます。

また、本大会開催準備のため、本部を中心に全国役員の諸先生方には、大会の企画運営等献身的なご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

今、世界のいたるところで宗教や民族間の紛争が絶えない中で、日本武道に精進され同じ道を歩む人々が相互の信頼と親交を深めあうことにより、世界の平和に貢献できることを信じるものであります。

この大会で得た感動と友情を永く持ち続け、武道の精神と技が益々多くの人に広がり発展していくことを強く念願いたします。

ご参加の先生方の道場の益々のご発展と、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。